

平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーズメン
 コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 梶島 正司

問合せ先責任者 (役職名) 経理情報システム課長

(氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	2,739	△14.5	△145	—	△153	—	△166	—
28年2月期第2四半期	3,204	△6.4	△49	—	△55	—	△56	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	△211.12	—
28年2月期第2四半期	△71.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第2四半期	3,193	1,602	50.2
28年2月期	3,564	1,772	49.7

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 1,602百万円 28年2月期 1,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	△10.1	△145	—	△165	—	△185	—	△234.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期2Q	975,000 株	28年2月期	975,000 株
29年2月期2Q	185,400 株	28年2月期	185,400 株
29年2月期2Q	789,600 株	28年2月期2Q	789,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の堅調な推移や所得環境に改善傾向が見られるなど緩やかに回復基調が続きました。一方で、英国のEU離脱や新興国の経済減速、円高・株安の進行などの要因により、景気の先きは不透明な状況となっております。衣料品小売業界におきましては、依然として消費者の節約意識が強く、低価格志向で慎重な消費行動が続き、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、販売面におきましては、売上の柱となる主力商品を設定し、ポスター等による販促活動、各店舗での売場ディスプレイの工夫などを展開し、販売強化に努めてまいりました。一部の取組みには成果が見られましたが、売上全体を底上げするまでには至らず、当第2四半期累計期間における全社の売上高前年比は85.5%、既存店の売上高前年比は88.6%となりました。商品面におきましては、トレンド商品の強化として、定番シャツなど売れ筋となるベーシックな商品群を投入し、また、OEM生産の取り組みとして、無地Tシャツなど価格競争力のある商品群を投入いたしました。しかしながら、当社の強みであった独自性を表現できない一面もあり、お客様からの強い支持をいただくことができず、既存店の客数前年比は88.8%となりました。また、売上総利益率につきましては、前年を3.3ポイント下回る45.8%となりました。

コスト面におきましては、構造改革の推進に取り組み、本社の業務効率化により人員削減を実行するとともに、社員の給与体系を見直し、利益貢献に応じた給与支給を徹底するなど、体質強化に努めてまいりました。その結果、当第2四半期累計期間における販売費及び一般管理費は前年より220百万円減少の14億円となりました。

店舗戦略におきましては、不採算店舗の撤退による利益体質の強化を進め、当第2四半期累計期間において「METHOD」1店舗、「流儀圧搾」5店舗、「誓文払い」1店舗（アウトレット店）の合計7店舗を閉店いたしました。その結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は「METHOD」35店舗、「流儀圧搾」25店舗「METHOD COMFORT」2店舗（アウトレット店）、「AGIT POINT」4店舗の合計66店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は27億39百万円（前年同期比14.5%減）、営業損失は1億45百万円（前年同期比96百万円損失増）、経常損失は1億53百万円（前年同期比98百万円損失増）、四半期純損失は1億66百万円（前年同期比1億10百万円損失増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は19億20百万円となり、前事業年度末に比べ3億63百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少3億49百万円によるものであります。固定資産は12億64百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金の減少80百万円、新基幹システム開発費用等の無形固定資産の増加90百万円等によるものであります。

この結果、総資産は31億93百万円となり、前事業年度末に比べ3億70百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は9億24百万円となり、前事業年度末に比べ55百万円減少いたしました。設備支払手形の増加20百万円等によるものであります。固定負債は6億65百万円となり、前事業年度末に比べ1億44百万円減少いたしました。これは主に社債の減少70百万円、長期借入金の減少65百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は15億90百万円となり、前事業年度に比べ2億円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は16億2百万円となり、前事業年度末に比べ1億69百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失1億66百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、営業活動により1億15百万円減少、投資活動により88百万円減少、財務活動により1億45百万円減少し、8億73百万円となり、前事業年度末に比較して3億49百万円の減少となりました。

また、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は1億15百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純損失1億59百万円に加え、償却費等の内部留保の合計48百万円、たな卸資産の減少50百万円、売上債権の減少26百万円等による資金の増加、仕入債務の減少27百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は88百万円となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収33百万円等による資金の増加、店舗改装のため有形固定資産の取得28百万円、新基幹システム開発による支出89百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1億45百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出75百万円、社債の償還による支出70百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の通期業績予想につきましては、平成28年9月28日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,223,107	873,503
売掛金	176,165	203,039
商品	819,789	769,441
その他	64,566	74,247
流動資産合計	2,283,627	1,920,231
固定資産		
有形固定資産		
建物	802,904	757,258
減価償却累計額	△485,205	△448,757
建物（純額）	317,698	308,501
工具、器具及び備品	263,735	264,127
減価償却累計額	△176,622	△174,530
工具、器具及び備品（純額）	87,113	89,597
建設仮勘定	3,775	0
有形固定資産合計	408,587	398,099
無形固定資産		
ソフトウェア	6,900	6,622
その他	28,008	118,788
無形固定資産合計	34,908	125,411
投資その他の資産		
投資有価証券	86,665	80,901
長期前払費用	8,813	9,395
敷金及び保証金	731,384	650,566
投資その他の資産合計	826,863	740,862
固定資産合計	1,270,359	1,264,372
繰延資産		
社債発行費	10,505	9,011
繰延資産合計	10,505	9,011
資産合計	3,564,492	3,193,615

（単位：千円）

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	99,673	53,292
買掛金	170,381	189,439
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	141,430	131,448
未払費用	138,335	131,245
未払法人税等	17,058	11,720
賞与引当金	20,000	18,700
設備関係支払手形	8,553	28,573
資産除去債務	31,585	10,052
その他	13,724	10,296
流動負債合計	980,742	924,766
固定負債		
社債	365,000	295,000
長期借入金	260,812	195,088
役員退職慰労引当金	29,482	29,482
資産除去債務	136,689	129,260
繰延税金負債	18,880	17,037
固定負債合計	810,863	665,868
負債合計	1,791,606	1,590,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,231,877	1,065,176
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	1,741,624	1,574,923
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,262	28,057
評価・換算差額等合計	31,262	28,057
純資産合計	1,772,886	1,602,980
負債純資産合計	3,564,492	3,193,615

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	3,204,486	2,739,860
売上原価	1,632,596	1,484,879
売上総利益	1,571,889	1,254,980
販売費及び一般管理費	1,620,934	1,400,923
営業損失(△)	△49,045	△145,942
営業外収益		
受取利息	940	9
受取配当金	425	425
受取補償金	-	608
貸倒引当金戻入額	1,900	-
その他	979	202
営業外収益合計	4,245	1,244
営業外費用		
支払利息	8,923	7,578
その他	1,291	1,596
営業外費用合計	10,214	9,174
経常損失(△)	△55,014	△153,872
特別損失		
固定資産除却損	320	3,517
店舗閉鎖損失	-	100
減損損失	-	1,566
特別損失合計	320	5,183
税引前四半期純損失(△)	△55,334	△159,056
法人税、住民税及び事業税	7,113	6,927
法人税等調整額	△6,227	717
法人税等合計	886	7,644
四半期純損失(△)	△56,221	△166,700

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成27年3月1日 至平成27年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成28年3月1日 至平成28年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△55,334	△159,056
減価償却費	56,080	43,656
無形固定資産償却費	3,215	2,416
長期前払費用償却額	1,963	2,121
減損損失	-	1,566
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,900	-
賞与引当金の増減額（△は減少）	200	△1,300
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	5,526	-
受取利息及び受取配当金	△1,365	△434
支払利息	8,923	7,578
固定資産除却損	320	3,517
売上債権の増減額（△は増加）	8,000	△26,873
たな卸資産の増減額（△は増加）	50,217	50,347
その他の資産の増減額（△は増加）	7,497	30,563
仕入債務の増減額（△は減少）	16,848	△27,323
その他の負債の増減額（△は減少）	△37,134	△29,035
未払消費税等の増減額（△は減少）	△51,134	7,520
小計	11,923	△94,735
利息及び配当金の受取額	1,365	434
利息の支払額	△9,569	△7,258
法人税等の支払額	△14,122	△13,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,402	△115,550
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127,337	△28,992
無形固定資産の取得による支出	△660	△89,143
敷金及び保証金の回収による収入	4,291	33,095
敷金及び保証金の差入による支出	△22,206	△596
長期前払費用の取得による支出	△3,290	△2,703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,202	△88,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△103,310	△75,706
社債の発行による収入	195,982	-
社債の償還による支出	△50,000	△70,000
リース債務の返済による支出	△588	-
配当金の支払額	△9	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,075	△145,713
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△117,529	△349,603
現金及び現金同等物の期首残高	1,562,273	1,223,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,444,743	873,503

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)及び当第2四半期累計期間(自平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。